

施工説明書

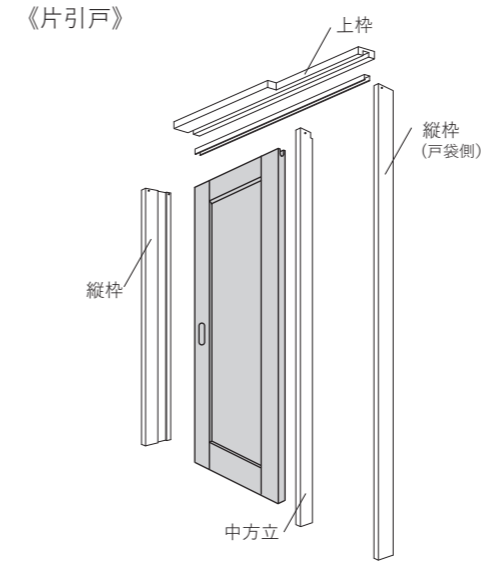
内装ドア 引戸

この度は、弊社製品を採用いただきまして誠にありがとうございます。
 施工前には必ずこの施工説明書をよくお読みいただき、ご理解の上、施工して下さい。
 この施工説明書は、弊社内装ドアシリーズの共通施工説明書となります。
 商品シリーズにより対応していない場合がございます。

目次

○ 部品・部材の確認	1-2
○ 施工要領	
1. 施工前の確認	3
2. 開口部の準備	3
3. 枠の組立	4
4. 枠の取付	5
5. 差込ケーシングの取付(差込枠のみ)	5
6. レールの取付	6
7. 下ガイドの取付	8
8. 扉の吊り込み	9
9. 引手の取付	9
10. 扉の建付けの調整	10
○ 参考納まり図	11-15

固定枠 部品・部材の構成内容



部品名	上枠	縦枠	縦枠(戸袋側)	中方立	枠固定組立ビス	ビスキャップ	戸じゃく리스ペーサー
数量	1	1	1	1	3.3×50	ホワイト / ベージュ ブラック (各色8個)	・取付ビス

部品名	レール	上吊戸車	シャトルクローザー	上吊用下ガイドS	後付けトリガー	トリガー取付治具	引戸本体
数量	片引戸 1	1	1	1	1	1	1 ・上吊戸車ケーシング 下ガイドレール付

施工要領

引戸(片引戸)

= 施工前のお願い =

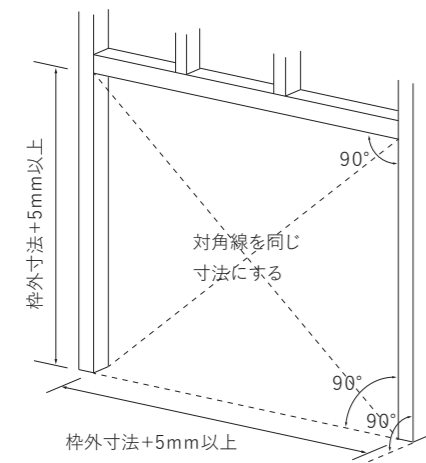
- ・製品の仮置きや保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避け保管してください。
- ・納品の際、製品に傷がないか確認をお願いします。
- ・製品到着から10日以上経過した場合の破損・紛失等につきましては無償対応しかねます。その際、送り状の「お問合せNo.」も合わせてお申し出ください。
- ・弊社では提携工場との綿密なタイアップにて木質製品の特性を理解しつつ品質管理には十分な配慮に努めておりますが、万一製品に不具合が発生した場合には製品の交換をさせていただきますので、必ず施工前に確認いただきご一報をお願いいたします。なお、施工後のクレームは対応いたしかねますのでご注意ください。
- ・製品についてのお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店または納品書記載の連絡先へお知らせください。

1. 施工前の確認

- ・開梱後、枠材本体及び付属部品に不足や損傷がないか確認してください。

2. 開口部の準備

- ①納まり図を確認のうえ、枠外寸法+5mm以上のラフ開口を設けてください。
- ②下げ振りやレーザーを使い水平、垂直を出し開口寸法を確認してください。



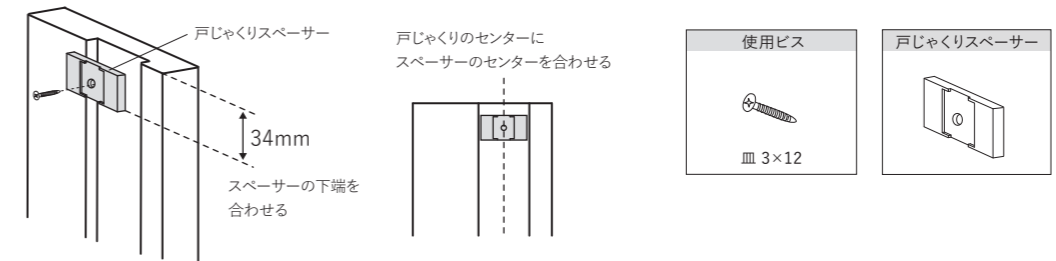
注意!

・枠材は木製品です。
木製品特有の伸縮により寸法に誤差や軽微な反りが生じることがあります。



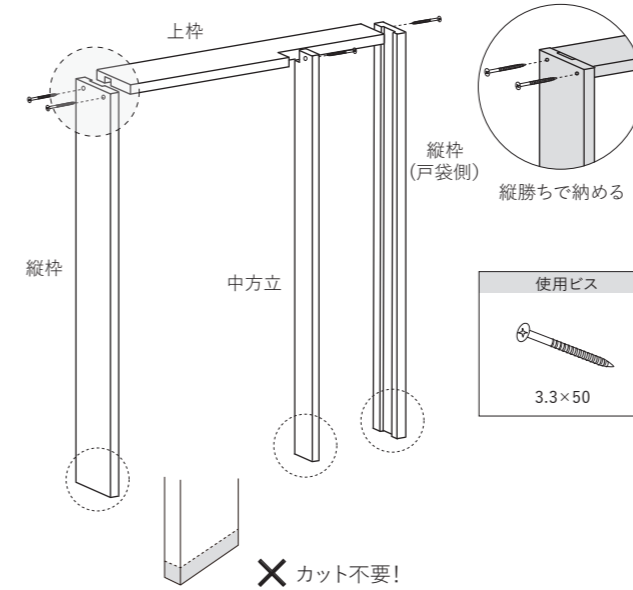
3. 枠の組立

- ①縦枠に戸じゃくりスペーサーを取付けてください。
縦枠上部から34mm下がった位置に印を出します。
戸じゃくりスペーサーの下端を出した印に合わせて付属のビスで固定してください。



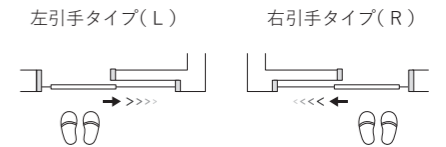
- ②枠を組み立ててください。
縦枠上部には組立ビスの誘導穴があいています。
縦枠・上枠の接合部にずれがないことを確認し、同梱の組立ビスで固定してください。

《片引戸》



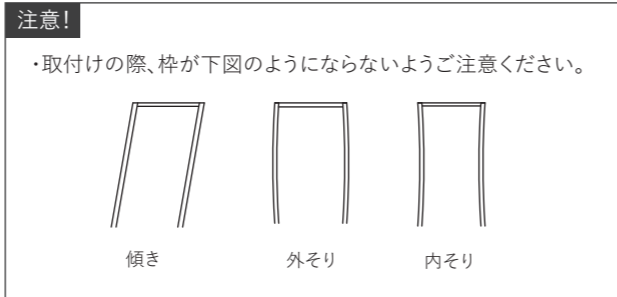
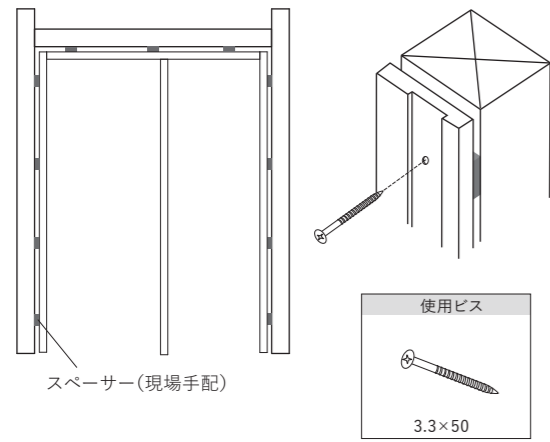
注意!

- ・固定枠、差込枠共にジャストカット仕様です。伸び寸はありません。
- ・片引戸には左右(LR)がありますので、組立前にご確認ください。

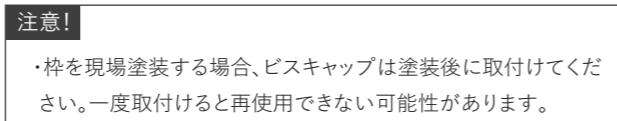
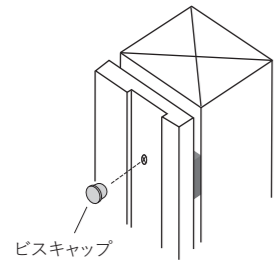


4. 枠の取付

- ①スペーサーを用いて間柱、まぐさへ枠を固定してください。
- ②対角寸法を計測し、枠の建付けを確認してください。

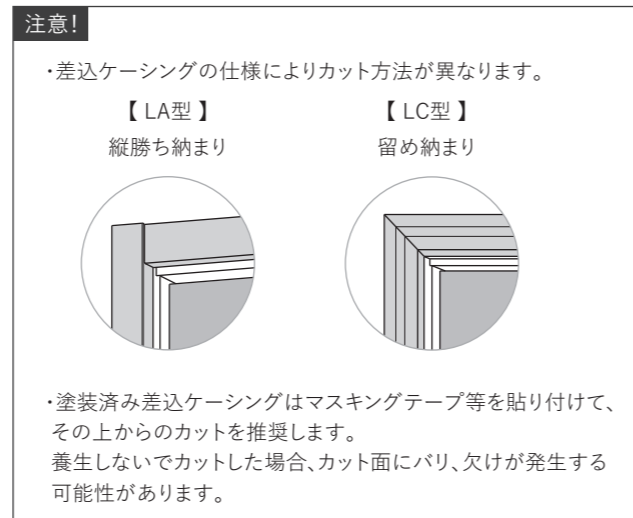
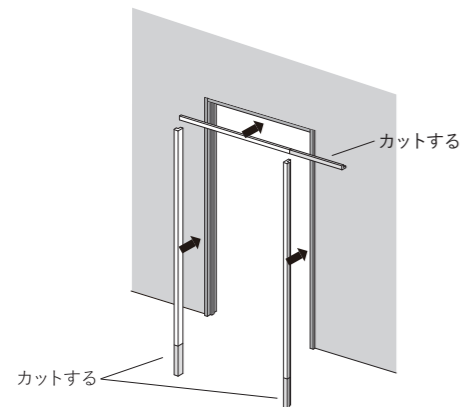


- ③ビスキャップを取付けてください。



5. 差込ケーシングの取付 (差込枠使用時のみ)

- ①差込ケーシングをケーシングの仕様に合わせてカットしてください。
- ②差込ケーシングに接着剤を塗布してフィニッシュネイル等を使用し固定してください。

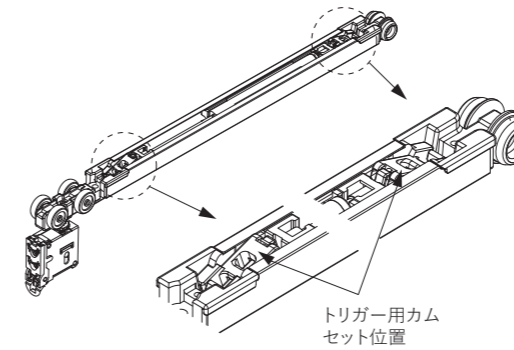


6. レールの取付

- ①図1を参考にクローザーのチェックを行ってください。
レールにセットする前にトリガー用カムがセット位置にあることを確認してください。

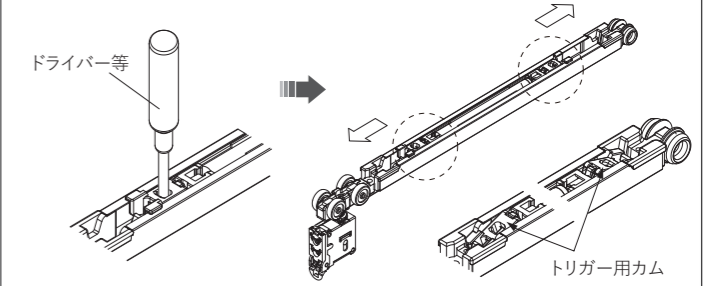
図1

《トリガー用カムセット位置》



注意!

- ・セット位置にない場合、ドライバー等でトリガー用カムを両端へ移動させてください。
- ・けがをしないよう十分に注意してください。



- ②図2, 3を参考にレールへクローザーと戸車をセットしてください。
レールの下穴加工は不要です。

図2

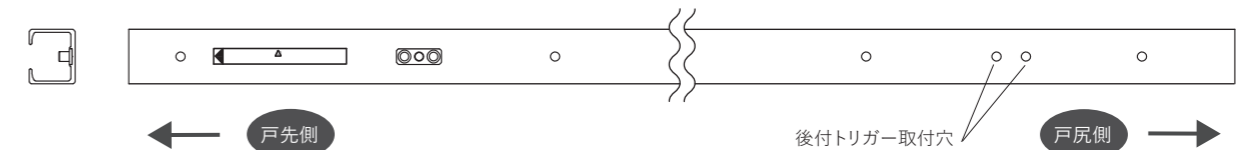
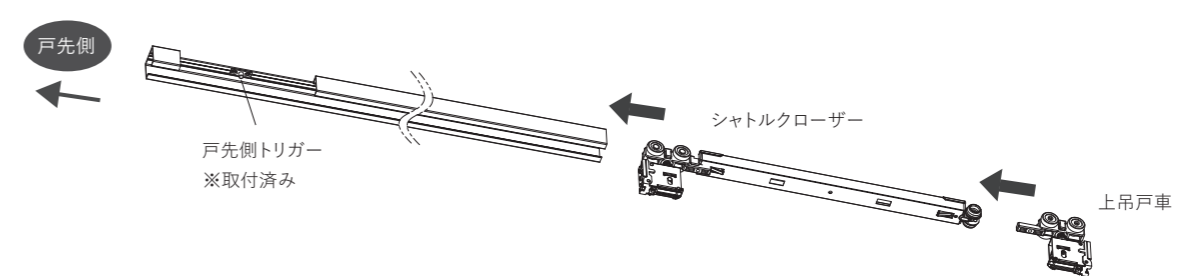
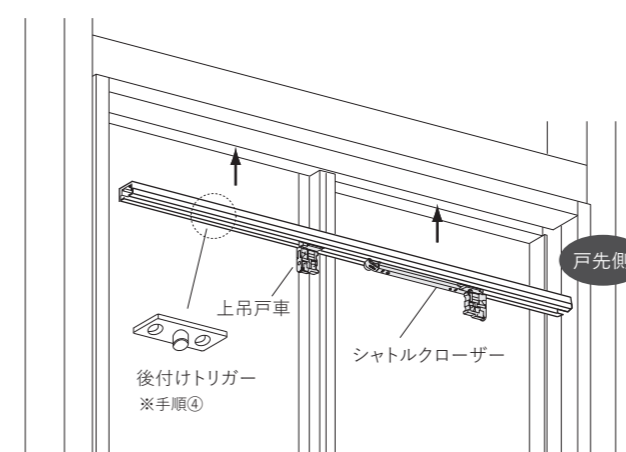


図3

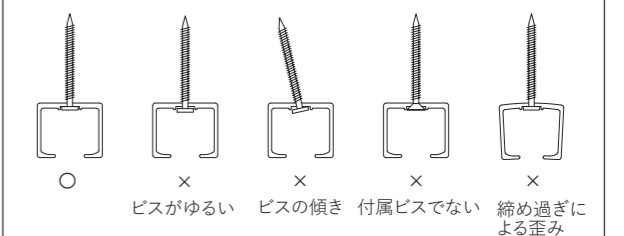


- ③レールの向きに注意して上枠へ固定してください。



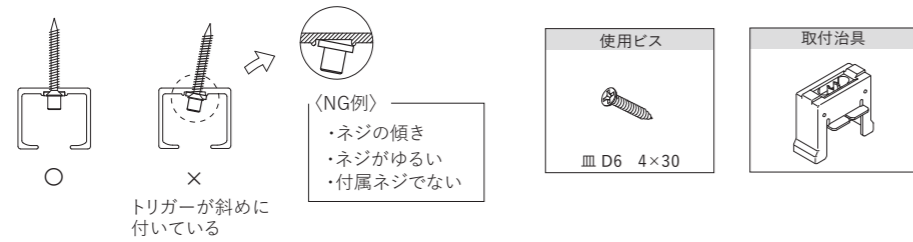
注意!

- ・ビスの締めすぎやビス頭の出っ張りに注意してください。レールの変形やクローザーの誤動作につながります。



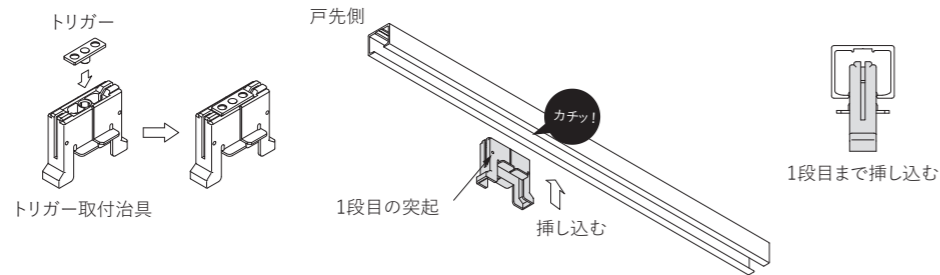
6. レールの取付

- ④後付けトリガーをレールの戸尻側へ取付けてください。
トリガー取付用穴に合わせ、付属の取付ビスでしっかり止めてください。

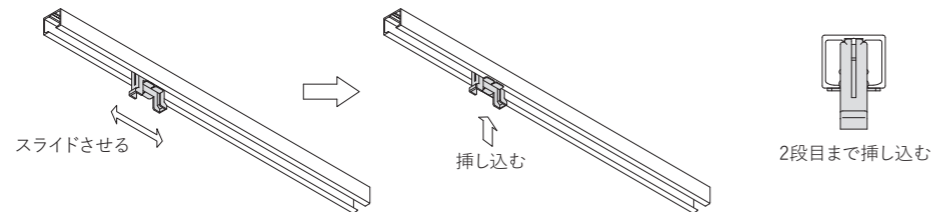


《取付治具使用方法》

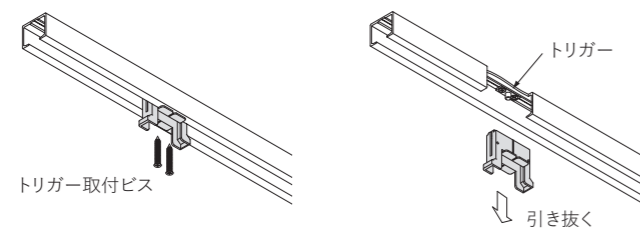
- ① 後付けトリガーをトリガー取付治具にセットし、レール開口部に挿し込みます。
*トリガー取付治具の1段目の突起が「カチッ」と音または感触がするまで挿し込んでください。



- ② トリガー取付治具をスライドさせて、予め加工したトリガー取付穴と後付けトリガーの穴位置を合わせ、取付治具のツバ部分が上レールに当たるまで、さらに上まで挿し込みます。



- ③ 付属のビスでトリガーをしっかりと固定します。ビス固定後、トリガー取付治具を引き抜きます。
*ビス固定の際は、電動ドライバーで締め切らず、最後に手動ドライバーで締め付けてください。



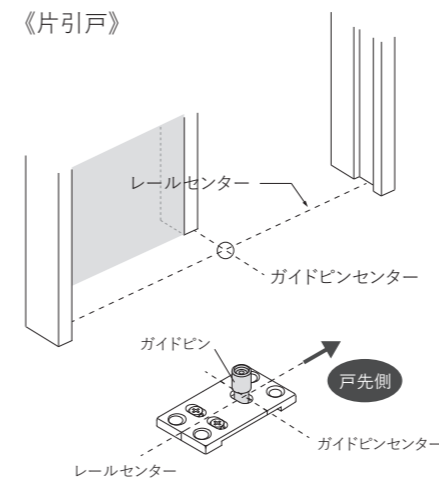
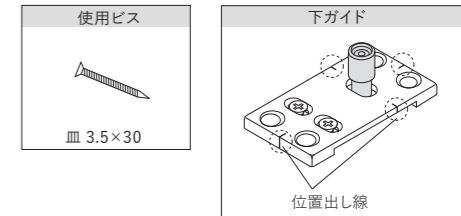
- ⑤上レール、後付けトリガーを取付けた後、レール滑走面を掃除してください。

注意!

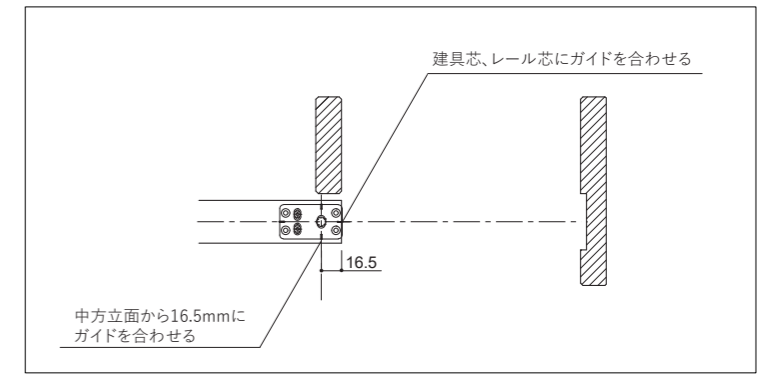
・木くず等がレール滑走面や装置内部に付着すると、異音の発生や引込動作不良を起こし、扉が閉まらなくなります。

7. 下ガイドの取付

- ①下図を参考にレールセンターとガイドピンセンターの墨を出してください。
②下ガイドの位置出し線に墨を合わせてセットしてください。
③下ガイドの取付向きを確認し固定ビスで固定してください。

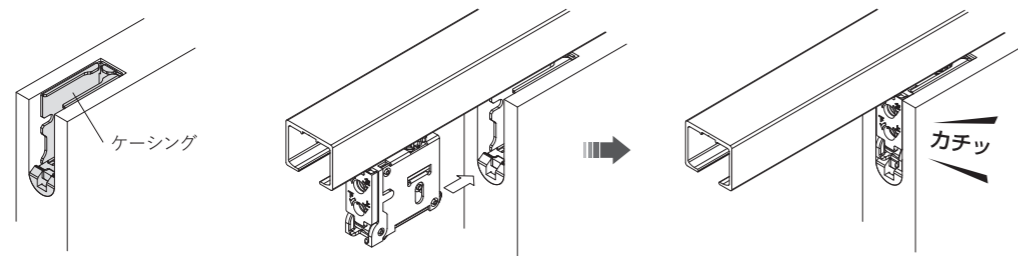


取付参考位置

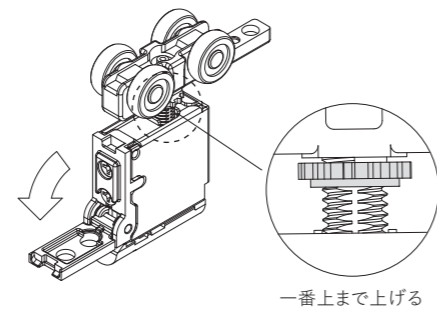


8. 扉の吊り込み

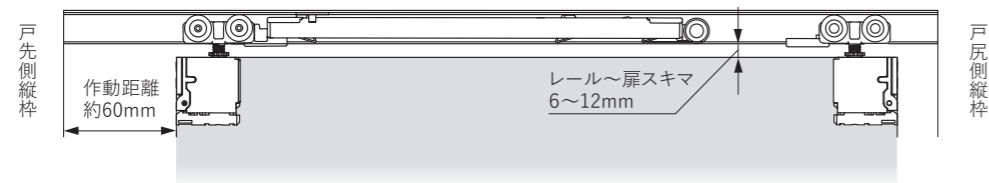
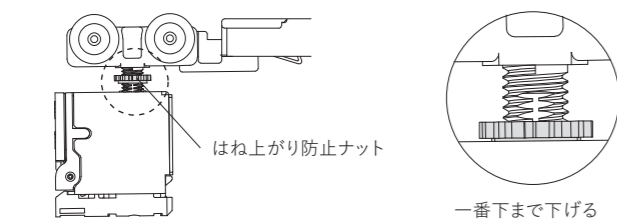
- ①扉上部のU字溝にケーシングが付いているか確認してください。
- ②ケーシングへ戸車本体を挿入し、『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



・扉を外す時は、扉を軽く持ち上げレバーを水平に倒し、戸車を引き抜いてください。その際、はね上がり防止ナットを一番上まで上げてください。

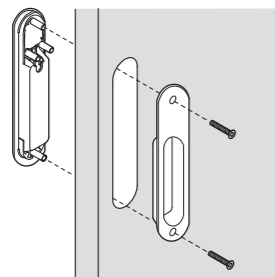


- ③扉の全開、全閉をゆっくり数回行い、作動の確認をしてください。必要に応じて扉の建付けを調整してください。
- ・建付けの調整後は、はね上がり防止ナットを締めてください。



9. 引手の取付

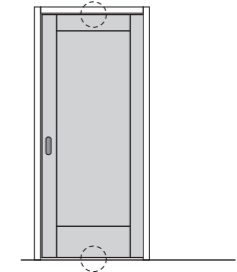
- ・引手の取付方法は購入された引手の種類により異なります。購入された引手に同梱されている取付説明書に従って取付けてください。



10. 扉の建付けの調整

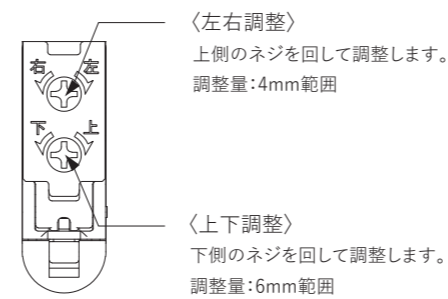
- ・扉の開閉具合、クローザーの動作、クリアランスなどを確認してください。必要に応じて戸車と下ガイドの調整を行ってください。

※調整する時は、手回しドライバーを使用し、電動ドライバーは使用しないでください。



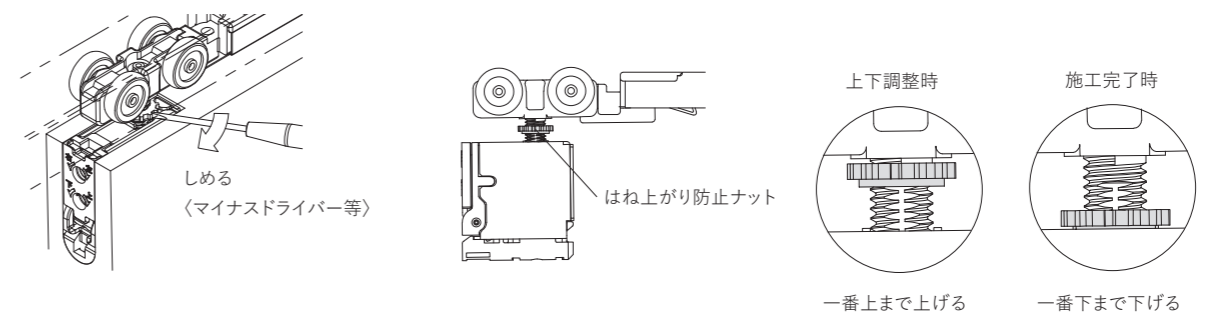
《戸車の調整方法》

・扉の上下調整・左右調整は上吊戸車でを行います。



注意!

- ・上下、左右調整する際は、マイナスドライバー等を使用して、はね上がり防止ナットを一番上まで上げてから行ってください。上下調整後、はね上がり防止ナットを一番下まで下げてください。
- ・調整ねじは調整範囲以上回さないでください。
- ・電動ドライバーは絶対に使用しないでください。



《下ガイドの調整方法》

- ・調整部の固定ネジを緩めて扉の位置を調整します。
*調整範囲は±2mmです。

